

とくしまリスキリング講座

事業のポイント

■ 平成17年度から実施している徳島県内企業の将来を担う中核人材を対象とした講座に加え、令和5年度からは、徳島県内企業への定着を見据えた従業員エンゲージメント向上のための講座を開始して事業を実施。

事業の概要

1. 事業の目的

本講座は、平成17年度から開講し、県内の優れた技術力をもとに信頼性の高い産業製品を提供している企業において、次世代を担う人材育成を目的として講座を実施してきた。今日においては、少子化現象のために企業の人材不足が大きな問題となっており、各企業における従業員の能力開発が今後ますます重要である。しかも、現在の社会変革を顧みると、技術者だけでなく多くの企業人にとっても新たな知識習得が求められており、かつ、優秀な人材を県内企業に定着させて発展及び成長を促すことは、本学の使命である地域貢献の実現につながる。これらを踏まえ、従来の技術講座に加え、経営的な新たな講座を取り入れ、多角的に物事を捉えることのできる、企業における核となるべき人材を育成する。

2. 事業の取組状況

開講19年目を迎え、以下の11講座を開講した。

講座名	時間数	受講者数
生産管理講座	15H(3H×5回)	14名
マーケティング講座	15H(3H×5回)	11名
3D-CAD講座(基礎編)	15H(3H×5回)	6名
次世代リーダー育成講座	15H(3H×5回)	28名
エンゲージメント マネジメント講座	24H(3H×8回)	37名
3D-CAD講座(応用編)	15H(3H×5回)	6名
LED活用入門講座	24H(3H×8回)	5名
ロボットプログラミング講座	24H(3H×8回)	9名
AI(人工知能)入門講座	24H(3H×8回)	21名
エンゲージメント マネジメント実践講座	42H (3H×6回、8H×3回)	27名
ベンチマーク視察	6H(3H×2回)	17名

事業代表者・連絡先

田中 俊夫(人と地域共創センター・センター長)

〒770-8502 徳島市南常三島町1-1

tel: 088-656-7276 fax: 088-656-7277

e-mail: kygakusk@tokushima-u.ac.jp

3. 事業実施による成果と今後の展開

毎年、講座の内容について検討を加えながら開講しており、これまでに累計1,692名の企業人が受講し、各企業において中核人材として活躍している。

令和5年度は、従業員エンゲージメント向上を目的とした2件の講座を新規開設し、講義、実習を行った。「エンゲージメントマネジメント講座」では経営者層を主な対象としてリスキリング推進の必要性を理解してもらい、中間管理者層、一般社員層を主な対象とする「エンゲージメントマネジメント実践講座」で組織の持続的成長と個人のウェルビーイングを両立させることによって社会と個が共に発展する社会の実現を目指す。

上述の講座の他、引き続き、地域における各企業の中核を担う人材育成・社会人教育の一助となる講座を実施し、受講者がより興味・関心をもつ新しい技術講座や企業に役立つ経営講座などを企画し、本事業を発展させていきたい。



エンゲージメント
マネジメント講座
実施風景



ベンチマーク
視察実施



AI(人工知能)
入門講座の
実施風景

とくしま健康寿命からだカレッジ

事業のポイント

■ 徳島県との連携により、徳島県民の健康寿命延伸を実現するため、医療・健康関係の講義を開講して地域ボランティア並びに地域リーダーを育成、徳島県下における健康力向上の仕組みを広める活動を実施。

事業の概要

1. 事業の目的

徳島県との連携により、講義及び実習を通じて徳島県民の健康寿命延伸の実現とそれに係る地域ボランティア並びに地域リーダーの育成を目的とする。

2. 事業の取組状況

令和元年10月に基礎課程を開講、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して開講を控え、令和3年11月に専門課程、令和4年度に第2期基礎課程を開講した。

令和5年度は、第2期専門課程を5月から8月の間に実施し、受講者数13名、うち9名が課程を修了して徳島県知事と徳島大学長から健康寿命パートナーの称号を付与された。また、専門課程修了者を対象とした、とくしま健康寿命マスター資格認定試験では9名が合格し、資格認定者は計15名となった。また、第3期基礎課程を9月から3月の間に実施し、受講者数8名、5名が課程を修了した。

昨年度から開始した「健康寿命キャラバン」事業はとくしま健康寿命マスターによる実演指導講座であり、令和5年5月から翌年2月にかけて、徳島県下の6市町（小松島市、北島町、東みよし町、つるぎ町、牟岐町、松茂町）にて開催した。また、今年度から本学教員によるビデオ講座に「とくしま健康寿命からだカレッジ mini」を開講し、地域住民を対象として指導を行った。

3. 事業実施による成果と今後の展開

令和6年度は5月から8月の間で第3期専門課程を開講、9月から翌年3月の間で第4期基礎課程を開講する。また、第3期専門課程修了者を対象として、第3回とくしま健康寿命マスター資格認定試験を実施する。

さらには、令和4年度に開始した健康寿命キャラバン活動、令和5年度に開始したとくしま健康寿命からだカレッジ mini を継続して実施し、徳島県下市町村の広範囲に拡大していく予定である。

事業代表者・連絡先

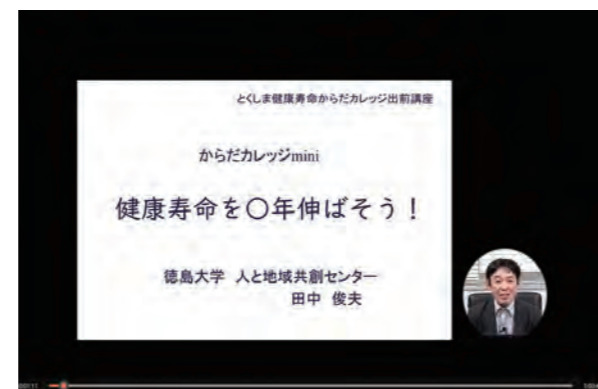
田中 俊夫（人と地域共創センター・センター長）
〒770-8502 徳島市南常三島町1-1
tel: 088-656-7276 fax: 088-656-7277
e-mail: kygakusk@tokushima-u.ac.jp



メタボ予防の運動講義実施風景



キャラバン実施風景



miniビデオ講義実施

公開講座・次世代光講座

事業のポイント

■ (公開講座) 大学における教育・研究の成果を広く地域に開放し、学びの機会を提供することを目的に事業を実施。
■ (次世代光講座) 光産業における、「新たな光の創出と応用」の実現に必要な研究・開発を担う分野横断型専門人材の育成等を産業界のニーズに基づいて実施し、地域人材の裾野を広げるための事業を実施。

事業の概要

(公開講座)

1. 事業の目的

昭和61年4月に学内共同施設として大学開放実践センターが設置されて以来、地域社会における生涯学習の拠点として、学内教員及び地域の有識者を講師とする講座を提供している。

2. 事業の取組状況

令和5年度は、春夏期445名、秋冬期525名の受講者により、春夏期28講座、秋冬期37講座を開講した。

分野名	春夏期 講座数	受講者	秋冬期 講座数	受講者
社会連携分野	2	27名	2	24名
キャリアアップ・資格支援	0	0名	1	8名
人間・社会	4	30名	6	94名
自然・科学	1	13名	0	0名
地域創生	—	—	2	13名
情報・技術	1	14名	4	40名
芸術	1	12名	2	19名
語学・国際交流分野	2	18名	5	40名
健康・スポーツ分野	14	297名	14	277名
その他	3	34名	1	10名
計	28	445名	37	525名

3. 事業実施による成果と今後の展開

令和6年度においても、講座内容の見直し、新規講座の企画を行い、継続して講座を実施していく。

事業代表者・連絡先

田中 俊夫（人と地域共創センター・センター長）
〒770-8502 徳島市南常三島町1-1
tel: 088-656-7276 fax: 088-656-7277
e-mail: kygakusk@tokushima-u.ac.jp

事業の概要

(次世代光講座)

1. 事業の目的

光産業における「新たな光の創出と応用」の実現に必要な研究・開発を担う分野横断型専門人材育成により、地域人材の裾野を広げることを目的として、本学 pLED 教員、大学院医歯薬学研究部教員及び大学院社会産業理工学研究部教員による講座を実施した。

2. 事業の取組状況

令和3年度から開始した本事業は、開始当初から実施している「光計測検査と画像診断」、「医と光の融合が拓く医療の新展開」を継承、発展させ、新たに「次世代分光センシング・イメージング技術の最前線」を加えた3つの題目にて、9月16日、30日、10月7日の各土曜日の3日間で実施した。参加者は、のべ97人でうち高校生24人、大学生11人、企業関係者等62人であった。

講座名	実施日	受講者数
次世代分光センシング・イメージング技術の最前線	令和5年9月16日(土)	32名
光計測検査とAI利用画像認識技術の最前線	令和5年9月30日(土)	38名
医学と光学の融合による医療分野の新展開	令和5年10月7日(土)	27名

3. 事業実施による成果と今後の展開

若年層から社会人を対象とするリカレント教育講座として、継続して実施する。

まちしごととファクトリー

事業のポイント

■ 小さな地域での起業は、「まち」との連携を柱に「しごと」を組み立てることが大切。地域の中でしごとを創りだし、地域を少しずつ変えていく。そんな取組を応援し、地域の新しい担い手を創り出す場が「まちしごととファクトリー」。

事業代表者・連絡先

山中 英生 (人と地域共創センター・副センター長)

〒770-8502 徳島市南常三島町1-1

tel: 088-656-9752 fax: 088-656-9880

e-mail: chkoukenc@tokushima-u.ac.jp

事業の概要

1. 事業の目的

本事業は、徳島大学、徳島新聞社、徳島県信用保証協会の連携により、地域で「まちしごと」を創り、実践するアクターを創り出すことを目的とした事業で、令和5年度で9年目となる。

2. 事業の取組状況

●キックオフセミナー（6月24日）

ウェブ会議ツール「Zoom」を活用し、現地会場とオンラインのハイブリッド形式で開催。カモ谷製作舎の岡崎裕樹氏、株式会社 JouZo の住友正伯氏、一般社団法人 TSURIBITO の高橋真冬氏の3名をゲストに迎え、起業までの経緯や準備方法、事業の説明、今後の展望についてプレゼン形式でお話いただいた。



●まちしごと実践講座（6月27日、7月4日、11日）

徳島大学の授業「まちづくり地域社会論」との合同で、講師の矢部拓也教授（徳島大学）が実際に関わっている「まちづくり」実践事例を取り上げながら、全3回の講座を開催した。講座では、徳島県吉野川市の事例などを取り上げ、実践する「まちづくり」の取組を共有した。



●まちしごと実践塾（10月21日、12月9日）

徳島県信用保証協会が中心となり、起業に興味のある社会人や徳島大学の大学生等を対象に、全2回の創業に関するセミナー＆ワークショップを行い、ビジネスプラン作成を支援した。12月9日の実践塾では、株式会社 Ponte 代表

取締役社長 藤村泰之氏をゲストに迎え、自らの起業体験をもとに、これから起業を志す受講生にアドバイスと応援をもらった。



●エクスカージョン（12月2日）

地域でまちしごとを展開している起業家の現場訪問のため、徳島県鳴門市を訪問。一般社団法人 TSURIBITO の高橋氏をはじめとした講師より、観光業や地域振興、IT 事業などの事業取組についてお話いただいた。



●ビジネスモデル特論

徳島県信用保証協会の森卓史 地方創生部 部長が講師を務める徳島大学大学院の公開授業を後期に全12回実施。ビジネスモデルの組み立てなどを講義、実習及びグループワークで学んだ。



●クロージングセミナー（2月3日）

「未来の里山をつくる」をビジョンに掲げ、実現に資する様々な事業を行っている（株）エーゼログループより代表取締役 CEO 牧大介氏、COO 兼 CQO 佐藤道明氏をゲストに迎え、事業取組についてお話いただいた。その後、実践塾生ら各々の事業プレゼンを行い、参加者同士で意見を交わした。